

慶應義塾大学 SFC 研究所  
地域情報化研究コンソーシアム 自治体 ICT プロジェクト  
第 6 回定例会 (2013.2.14)

【議事】

1. 総務省訪問報告 (15:30~16:00)
2. 各分科会 (16:00~17:00)  
防災災害／情報発信＋産業観光活性
3. 来年度の活動について (17:00~17:30)

【報告事項】

- 来年度の初回会合は 4 月を予定しています。2 月下旬以降、全国の全自治体に対し地域コンソ加入のお誘いを発送する予定です。
- ITU Kaleidoscope conference 2013(4 月 22 日～ 京都大学にて)で発表します。

“Sustaining life during the early stages of disaster relief with a Frugal Information System: Learning from the Great East Japan Earthquake.”

Mihoko Sakurai, Jiro Kokuryo (Keio University, Japan); Richard Watson (University of Georgia, USA); Chon Abraham (College of William and Mary, USA)

※※懇親会について

日時：2 月 14 日 (木) 18:00～

場所：中国茶房 8 赤坂店 (港区赤坂 3 丁目 8-8 赤坂フローラルプラザ B 1 階)

会費：3500 円 (領収書が必要な方は後日 sakuram@sfc.keio.ac.jp までご連絡ください)



以上

# 自治体 ICT プロジェクト 防災・災害分科会

## 第 6 回定例会

### ■日時

2013 年 1 月 24 日（木） 15:30～17:00

### ■場所

クラブハウス赤坂 大会議室 2（東京都港区南青山 2-2-8 DF ビル 5F）

### ■議事：来年度（平成 25 年度）の活動について

#### ・活動テーマについて

今年度は「ICT-BCP 策定支援」と「災害時の応援協定」について主に議論をしてきたが、他に取り組むべきトピックはあるか？

- 過去の話題：バックアップ、被災者支援システム等
- 新たな大トピックを設けるか？他のトピックの中の項目として位置づけるか？

#### ・平成 25 年度のスケジュールの流れについて

平成 25 年度は、今年度議論してきた内容を「実践」していく年になる。「ICT-BCP 策定支援」および「災害時の応援協定」をどのような流れで進めていくか。また、全体の大まかな流れをどう進めていくか。

資料：防災・災害 WG の 2013 年度活動について

以上

# 自治体 ICT プロジェクト 防災・災害分科会

## 第 6 回定例会 議事メモ

### ■日時

2013 年 2 月 14 日（木） 16:00～17:00

### ■場所

クラブハウス赤坂 大会議室 2（東京都港区南青山 2-2-8 DF ビル 5F）

### ■参加者

藤沢市、つくば市、杉並区

### ■議事

#### 事務局より配布資料説明

- ・ 事務局資料を配付（議事レジメ、「防災・災害 WG の 2013 年度活動について」、「自治体 ICT プロジェクト 防災・災害分科会 2012 年度活動まとめ」）。本日の分科会では、H25 年度の活動に向けてブレインストーミングを行った後、H25 年度の計画について簡単に議論したい旨を説明。

#### H25 年度の活動に向けて各メンバーより意見聴取・ブレインストーミング

- ・ （主査より）来年に向けて、一度防災関連でほかに話題がないか議論したい。最初はベンダーの方から、自治体への質問や、防災に関して重要だと考えている観点などを聞きたい。
- ・ 普段の業務との連続性が大事だと感じる。普段使いできるものでないといざという時には使えない。
- ・ H24 年度に ICT-BCP に重点を置いた経緯を聞きたい。→以前から BCP は必要だという話が出ていたが、昨年の時点ではできていないところが多かった。BCP を普及させたいという思いが共通してあった。たとえば東日本大震災で被災者支援システムが力を発揮できなかったケースでは、平常時に準備できていなかったことも大きかった。準備するためには BCP を作ることが効果的。
- ・ 被災自治体をサポートしているが、サーバを喪失した事例がある。会社としてボランティアで被災者支援システムを立ち上げて持って行って使ったりもした。その事例ではテープバックアップがあったので、復旧できたが、若干古くなってしまった。オンラインバックアップなどを提案している。→バックアップを完璧にするためにはいろんな困難がある。過去にいろんなメニューと現実性を検討した。
- ・ 被災者支援システムについて、クラウドを利用して、共通基盤的にいつでも使える状態で動かしておいていつでも使えるようにしてはどうか。被災時に発生する業務はある程度標準化できる可能性が高い。共通化されていれば、他の自治体の職員の応援も容易になる。→被災

者支援システムはよく使われているが、独自に開発しているところもある。川口市が被災者支援システムをクラウド化して提供している。いざというときの代替システムを共通化・共有化する取り組みはよい。それが普段使いできていれば理想的。

- ・ 訓練をするときに、ベンダーを巻き込んだ訓練をしてはどうか。今でも緊急時にはベンダーが駆けつけているが、その後のサポートの手順まで訓練できていればさらによい。
- ・ ネットワークが寸断されている場合と動いている場合ではできることが違う。最低限のところは県が持つなど、切れたときのことを想定して準備をしておいた方がいい。→初動と復旧時期の対応は大きく異なる。藤沢市と杉並区では、最悪の場合に台帳を印刷して届けることを含む協定を結んでいる。スタンドアロンの PC に被災者支援システムと情報を入れて届け、情報の統合はあとから行うなどのアイデアもある。USB でブートできて、スタンドアロンの PC とプリンタで最低限の業務ができるようなシステムを用意したり、いろんな工夫が考えられる。
- ・ データ入力等など、現地にはいけないがサポートできるということもある（ベンダーで入力支援をするなど）。そういうことも含めて考えられないか。→被災時に情報を現場で入力するのは大変。入力のサポートは是非何か考えたい。
- ・ （主査より）各自治体の方から、個人的な考えも含め、防災について考えていることを聞きたい。
- ・ 非常時に使うものは普段から使っている必要がある。つくば市は 3.11 の後に竜巻があった経験から、福祉の方で被災者支援システムを入れたいという話があり、準備している。要援護者への対応は大きな課題。
- ・ 情報化基本計画を作ろうとしている。災害に強い情報システム、災害時の情報流通などが大きなテーマ。「ICT に依存しない」という方向性が強く出ている。
- ・ 以前他市と GIS を使ったシステムを入れて、グループ単位で情報共有しようという試みをした。時期が早かったこともあるが、担い手の住人がこういうものを使わない。パケット通信料金の問題もあり、問題が多かった。
- ・ 災害時は使えるものを使うべきで、BYOD について考え始めるべきだ。しかし自治体での取り組みについては課題が多い。
- ・ 消防・警察等の機関連携について。東京の場合、どちらの組織も親組織の意向を尊重する傾向があり、自治体間の情報共有関係は結びにくい。消防団ではこういうものを使わないという問題もある。課題が多い。いざというときの現場間での情報共有の仕組みを BCP 等も含めて何か考える必要がある（都以外では状況が違っている可能性あり）。
- ・ 県との連携についても考える必要がある。基礎自治体間で協定を結ぶのはいいが、近隣自治体が県・国等を通じて組織立てて協力する仕組みも必要。たとえばどの県でも、発災時に基礎自治体が県に報告するためのシステムがあり、報道機関を通じて住民に情報を伝えるために使われている。今あるシステムを活用することも考えられるかもしれない。ICT システムの更新時に、市町村から県に仕組みを変えてもらうような申し入れをできる可能性もある。→県に要望を申し入れするときには、IT ではなく防災の方からアプローチした方が効果的かもしれない。報道機関によっては、県でまとまってもらわないと対応できないというところもある。

- ・ 被災時に網羅的な情報は重要で、県単位での連携の意義は大きい。この場に県の人を呼んで議論をすることも考えられるのではないかと。→県単位で取り組みたいという話は様々なものがあり得る。ただ、都道府県によって状況ややり方が違うので足並みがそろわないかもしれない。現状の制度は県が中心となって動く部分も多く、県を交えて行動するというのにはあり得るが、動きにくいのは確か。
- ・ 職員が具体的な対応判断をするためのマニュアルを作成している。しかし、細かく考えていくといろいろ不十分どころが見えてくる。作成しては見直してブラッシュアップしていく必要を感じる。初めから完璧なものとはできないが、見直しのサイクルを重ねて、被災現場を経験した人の話も聞き、いいものを作りたい。作っていないところにも作ってもらえたらいいと考えている。→緊急時に普段対応していない人が対応することも考えると、まずは基礎情報を集め、使う側のことを考えて洗い出しをする作業が必要。作ってみるとやるべきことが見えてくる。状況が変わっていくので、BCP やマニュアルに完成はない。

#### 来年度の進め方について

- ・ 今日の議論では、災害時に起きるさまざまな課題に対するソリューションがいろいろと出てきた。企業が持っているソリューションは多い。企業からのソリューションの提案がほしい。来年度は災害時の課題マップ、対策のリスト・メニューを作成していくことを目標の1つに追加する。
- ・ 来年度はWGの時間を効果的に使うため、事前に議題を共有した上で、参加団体に準備してもらい整理した上で議論をする。
- ・ 今年度重点を置いた2テーマ（協定・ICT-BCP作成支援）は継続する。課題マップのような話題を取り込みながら、このWGの時間は情報交換・議論のために活用したい。
- ・ 自治体間でお互いに参考にしたり、ベンダーからのアドバイスをもらうために、WGで作成したBCPの内容の交換をすることを検討する。
- ・ 来年度第1回のWGでは、初動時対策チェックリストアンケートの調査票案をベースに議論する。

以上

## 自治体 ICT プロジェクト 防災・災害分科会

### 2012 年度活動まとめ

#### ■定例会の実施

全 6 回の定例会を実施（今回を含む）

	日程	場所	主な議題
第 1 回	2012/5/7	慶応大三田 GSEC	今年度のスケジュール、調査実施内容について
第 2 回	2012/7/19	慶応大三田 GSEC	調査票案検討、災害協定に関する議論
第 3 回	2012/9/27	慶応大三田 GSEC	調査結果報告、災害協定に関する議論
第 4 回	2012/10/25	AP 品川	災害協定の具体内容、ICT・BCP 策定支援の方針
第 5 回	2013/1/24	慶応大三田 GSEC	ICT・BCP 策定支援内容、企業の積極的参加
第 6 回	2013/2/14	クラブハウス赤坂	来年度（平成 25 年度）の活動について

#### ■主なテーマ

- ・ 災害時における ICT 分野の自治体間相互応援協定

災害時の自治体間応援協定について議論し、本コンソーシアムを母体として、2014 年度には実際に協定を結ぶことを目指して具体的な内容を検討した。サミットで資料を配付した。

- ・ ICT・BCT 策定支援

ICT・BCP に関する情報交換を行った。2013 年度中に本コンソーシアムの全参加自治体に ICT・BCP を策定してもらうことを目標に、策定支援の方法について議論した。

- ・ 自治体 ICT 部門災害対応準備状況調査

コンソーシアム参加自治体の準備状況の実態を調べるため、8 月に参加自治体に向けてアンケートを実施した。

以上

## 防災・災害 WG の 2013 年度活動について

### ■考えられる活動内容案

- ・ ICT-BCP 策定支援
  - 災害時の初動に関するチェックリストアンケート実施
  - ICT-BCP の策定(各コンソ参加自治体、最低でも初動レベル)
  - 一部参加自治体への個別説明
  - 自治体の取り組みの認知・広報の促進(総務省への策定状況の調査と公開への働きかけ、その他)
- ・ 災害時の応援協定
  - 呼びかけのための協定説明資料の作成
  - コンソ内協定準備会の立ち上げ(協定への参加を予定する自治体への呼びかけ)
  - コンソ外への呼びかけ(ICT サミット)
  - 協定参加準備(各参加予定自治体: 担当者の決定、BCP の策定、共有資料の作成等)
  - 準備的研修会(宿泊)の実施
- ・ 情報交換
  - WG 主催のメンバー企業を中心とした情報交換会実施(2 回または 3 回?)

### ■スケジュール例(定例会等の時期・回数は変わる可能性あり)

	定例会等	ICT-BCP策定支援	災害時相互応援協定	情報交換
4月	キックオフ			
5月	定例会	チェックリスト案作成・定例会で検討	定例会で資料内容について議論	
6月		チェックリストの実施(9月まで)	協定説明資料案の作成	
7月	定例会	個別説明の実施(以後随時)	定例会で資料案検討	情報交換会*
8月			コンソ内自治体への働きかけ	
9月	定例会	チェックリストとりまとめ ICT-BCP策定(各自治体)		
10月	定例会		コンソ内協定準備会の発足 協定参加準備(各参加自治体、2月頃まで)	(情報交換会*)
11月	サミット		サミットでのコンソ外への正式発表	
12月				
1月	定例会			情報交換会*
2月	定例会		準備的研修会の実施	
3月				

\*定例会に合わせて実施